



日本フードサービス協会加盟会員社による  
**外食産業市場動向調査**  
**2020（令和2）年2月度 結果報告**

一般社団法人日本フードサービス協会（略称：JF＝ジェフ 本部：東京都港区 会長：高岡慎一郎）は協会会員社を対象とした外食産業市場動向調査令和2年2月度の集計結果をまとめました。

「外食産業市場動向調査」は新規店も含めた「全店データ」を業界全体及び業態別に集計し、前年同月比を算出しております。

### <外食市場 2月の動向>

#### うるう年・休日数増などの特殊要因で売上は前年を上回る

##### <全体概況>

2月、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響は、業態、立地等によって明暗が分かれた。FFが好調な持ち帰り需要に支えられ上振れした一方、DR・居酒屋業態は、インバウンドや宴会需要の減少から、月の後半、特に政府から大規模イベントなどの自粛要請が行われた最終週以降は、客足が減少し売上への打撃が目立った。だがうるう年の本年は2月の日数自体が多く、また天皇誕生日で祝日が増えたなどの特殊要因とあいまって、土曜日が1日多い曜日周りも幸いし、月間では、外食全体の売上は104.8%と前年を上回った。

**なお、2月後半以降の新型コロナウイルスの売り上げへの影響(概況)については、別紙も併せてご参照下さい。**

##### <業態別概況>

##### ファーストフード業態

- 全体売上は109.8%と前年を上回った。
- 「洋風」は、引き続き期間限定商品やお得なランチメニューの好調に加え、テイクアウト、宅配、ドライブスルーなどが好調で売上は114.0%。「和風」は牛丼各社で電子決済の40%還元キャンペーンが好調で、売上108.6%。「麺類」も、同じく電子決済還元や肉増量メニューなど各種キャンペーンが奏功し、売上104.7%。「持ち帰り米飯・回転寿司」は、下旬以降、弁当の持ち帰りが伸び、売上105.8%。「その他」は、「アイスクリーム」も電子決済還元など各種キャンペーンが好調で、売上108.5%となった。

##### ファミリーレストラン業態

- 全体売上は102.0%と前年を上回った。
- 「洋風」と「和風」は、月後半を中心に新型コロナの影響で客数減が顕著だったものの、うるう年や休日増などの特殊要因に助けられ、月間ベースの売上は「洋風」97.0%、「和風」96.1%の打撃にとどまった。「中華」は、餃子などのテイクアウトの好調で、売上は107.7%。「焼き肉」は店によりまちまちであったが、メディア露出や半額キャンペーンが奏功したところや、休日の多い曜日周りもあり、売上は増加して124.4%となった。

##### パブ・居酒屋業態

- 飲酒業態は、立地や客層により新型コロナの影響に差があり、若年層やプライベート需要の多い店では影響が比較的少なかった一方、観光地立地や法人の宴会需要が多い店は月後半を中心に大きな打撃を受けた。自粛要請が出された2月最終週以降は、多くの企業で売上が落ち込んだが、うるうによる日数増等でいくぶん緩和され、月間ベースでは「パブ・ビアホール」は売上90.4%、「居酒屋」は売上95.2%となった。

##### ディナーレストラン業態

- ディナーレストランも、新型コロナの影響で観光地立地や法人の宴会需要が中心の店では集客減が目立ち、売上は97.4%となった。特に2月最終週に売上が落ち込む企業が多く、3月にはさらなる打撃が予想される。

##### 喫茶業態

- 引き続き価格改定などで単価が上昇しているものの、新型コロナの影響で商業施設立地の店舗を中心に客足が落ち、売上は98.9%となった。

この件のお問い合わせは事務局：松崎、石井までお願いします。 TEL:03-5403-1060



## 2. 全店時系列データ（前年同月比）

### a. 売上高前年同月比

	19年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月
全 体	101.9%	102.8%	101.7%	103.1%	103.4%	99.5%	103.4%	104.0%	97.6%	102.6%	101.0%	101.9%	104.8%
ファーストフード	102.4%	103.4%	102.7%	103.9%	105.7%	101.4%	105.1%	106.8%	100.6%	104.1%	103.5%	103.5%	109.8%
ファミリーレストラン	101.1%	102.3%	100.7%	103.4%	101.8%	95.6%	101.9%	101.3%	94.7%	101.9%	98.3%	100.2%	102.0%
パブレストラン／居酒屋	102.3%	101.2%	99.5%	100.5%	97.3%	98.6%	99.6%	99.3%	93.5%	98.5%	95.2%	101.0%	94.5%
ディナーレストラン	101.9%	103.8%	99.9%	100.9%	102.4%	102.1%	103.5%	102.1%	96.6%	104.1%	99.6%	102.3%	97.4%
喫茶	101.2%	101.1%	101.9%	102.3%	101.3%	103.7%	106.1%	108.9%	97.7%	103.3%	103.3%	101.3%	98.9%
その他	102.0%	101.7%	101.4%	99.0%	97.2%	100.0%	95.3%	88.1%	85.8%	90.6%	93.9%	95.0%	86.5%

### b. 店舗数前年同月比

	19年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月
全 体	100.3%	100.3%	100.3%	100.1%	100.0%	99.8%	99.9%	99.4%	99.9%	99.9%	99.8%	99.4%	99.3%
ファーストフード	100.4%	100.6%	100.7%	100.4%	100.4%	100.3%	100.4%	100.3%	100.5%	100.6%	100.2%	100.0%	98.8%
ファミリーレストラン	100.2%	100.3%	100.1%	100.0%	99.9%	99.7%	99.7%	99.7%	99.8%	99.6%	99.8%	99.9%	101.8%
パブレストラン／居酒屋	100.6%	99.7%	98.7%	98.7%	97.7%	97.2%	96.9%	97.2%	96.7%	97.3%	97.5%	97.7%	97.7%
ディナーレストラン	98.5%	98.4%	98.1%	98.2%	98.4%	98.3%	98.7%	98.5%	98.6%	98.2%	98.4%	98.0%	98.8%
喫茶	100.5%	100.5%	100.3%	100.8%	100.6%	100.5%	100.9%	101.0%	101.1%	101.3%	100.9%	100.6%	100.3%
その他	98.2%	98.0%	100.7%	99.4%	98.8%	97.2%	97.5%	86.8%	96.4%	96.7%	97.4%	87.5%	90.0%

### c. 利用客数前年同月比

	19年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月
全 体	100.3%	99.3%	99.4%	101.4%	102.1%	98.3%	101.2%	103.3%	94.6%	100.9%	100.9%	100.4%	101.8%
ファーストフード	100.3%	99.1%	99.7%	102.1%	104.3%	99.7%	102.6%	105.6%	95.8%	102.7%	103.4%	102.0%	104.9%
ファミリーレストラン	100.1%	100.0%	98.7%	100.9%	99.1%	93.8%	99.0%	99.0%	92.7%	99.1%	96.3%	98.2%	99.4%
パブレストラン／居酒屋	101.9%	100.8%	98.7%	101.6%	96.5%	97.6%	98.9%	100.1%	95.6%	98.3%	96.4%	100.6%	94.5%
ディナーレストラン	101.6%	102.0%	99.4%	100.1%	102.1%	101.9%	102.3%	101.9%	96.6%	102.8%	100.0%	101.2%	96.8%
喫茶	99.8%	99.2%	99.9%	99.8%	98.7%	100.4%	101.9%	104.5%	93.9%	98.4%	99.1%	96.6%	94.6%
その他	101.4%	96.4%	100.1%	96.8%	95.2%	98.5%	93.2%	90.4%	84.3%	87.0%	93.1%	93.5%	80.0%

### d. 客単価前年同月比

	19年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月
全 体	101.6%	103.5%	102.2%	101.7%	101.2%	101.3%	102.2%	100.7%	103.2%	101.7%	100.1%	101.5%	102.9%
ファーストフード	102.0%	104.3%	103.0%	101.7%	101.3%	101.7%	102.5%	101.1%	105.0%	101.4%	100.2%	101.4%	104.7%
ファミリーレストラン	101.0%	102.4%	102.0%	102.5%	102.7%	101.8%	102.9%	102.4%	102.2%	102.8%	102.1%	102.1%	102.7%
パブレストラン／居酒屋	100.4%	100.4%	100.8%	98.9%	100.9%	101.0%	100.7%	99.2%	97.8%	100.2%	98.7%	100.4%	99.9%
ディナーレストラン	100.2%	101.7%	100.6%	100.8%	100.3%	100.1%	101.2%	100.2%	100.0%	101.2%	99.6%	101.1%	100.7%
喫茶	101.5%	101.9%	102.1%	102.6%	102.6%	103.3%	104.2%	104.2%	104.1%	105.0%	104.3%	104.9%	104.6%
その他	100.6%	105.4%	101.3%	102.3%	102.1%	101.6%	102.3%	97.5%	101.9%	104.1%	100.8%	101.7%	108.2%

### 3) 「外食産業市場動向調査」調査概要

#### 1) 目的

業界の動向や変化を的確に示すデータの構築により、会員社の経営に役立つ情報提供、及び、協会活動の一つとして、社会に対し、外食産業からの信頼性のある情報提供を目指す。

#### 2) 調査構成

毎月、会員社本部より新規店の売上高も含めた全店に関する調査を全国規模で実施する。

#### 3) 集計方法及びデータ数値

回答事業社数をベースにした前年同月比を指標とする。

#### 4) 業態分類

業態に関しては経済産業省商業統計を参考に区分した。

		利用形態	提供内容	客単価
業 態	ファーストフード(注)	イートインあるいはテイクアウト	食事中心	やや低い
	ファミリーレストラン	イートイン中心	食事中心	中
	パブレストラン/居酒屋	イートイン中心	食事及び酒類	やや高い
	ディナーレストラン	イートイン中心	食事中心	高い
	喫茶	イートインあるいはテイクアウト	ソフトドリンク中心	低い

注) ファーストフードはテイクアウトの業態も含む。

#### 5) 実施概要

2月度有効回収の事業社数/店舗数は以下の通りである。

##### [全店データ]

		事業社数	店舗数
全 体		205	39,662
業 態	ファーストフード	55	22,261
	ファミリーレストラン	55	10,534
	パブレストラン/居酒屋	35	2,771
	ディナーレストラン	29	1,071
	喫茶	14	1,876
そ の 他		17	1,149

注1) 業態に関しては通産省商業統計を参考に区分した。

注2) 全体は各業態を合計した延べ事業社数である。

注3) ファーストフードはテイクアウトの業態も含む。

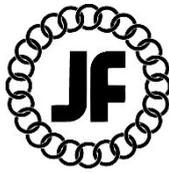
注4) その他は総合飲食、宅配ピザ、給食等を含む。

#### 6) 参考資料

休日日数及び天候情報

\* 雨天日数は1ミリ以上の雨の降った日数である

	休日日数	土曜日日数	東京都		大阪府	
			雨天日数	平均気温(°C)	雨天日数	平均気温(°C)
2019年 2月	5日	4日	4日	7.2	4日	7.8
2020年 2月	6日	5日	4日	8.3	8日	8.0



令和2年3月 25 日

別 紙

**新型コロナウイルス発生以降の売り上げについて（概況）**

一般社団法人日本フードサービス協会

今般の新型コロナウイルスは当初の想定を上回る感染力を持ち、2か月以上経過した現在も未だ勢いは衰えず、**2月後半以降、外食産業の売り上げは大きく落ち込み、特に、2月末より深刻な状況となっています。以下に概況をお知らせいたします。**

◎来客数・売り上げが大幅に減少

2月後半から大幅な落ち込みが始まり、2月末から極めて深刻な状況。

3月に入り、直近の時点では、居酒屋、ディナーレストラン、ファミリーレストランなど売り上げが5割以上落ち込むチェーンもあり、休業・営業時間短縮を余儀なくされている店舗も多い。

- ・ 地域的には、特に北海道が厳しく、来客数・売り上げの大幅減少（事業縮小・休業店舗多数続出）

全店舗の3分の2が休業に追い込まれるなど、札幌市内の売り上げが7割減少というチェーンも出ている。

- ・ インバウンド需要の減少

2月に入り、中国人観光客（全外国人観光客の3割を占める）のインバウンド需要がなくなり、外食店舗は売り上げが大きく落ち込んでいる。

- ・ ショッピングセンター等の商業施設での来店者数の減少

フードコートを含むテナント店の売り上げが大きく減少している。

- ・ 3～4月の宴会需要の大幅な落ち込み

3～4月は、例年なら歓送迎会シーズンだが、キャンセルが相次ぎ、予約が入らない状況にある。